



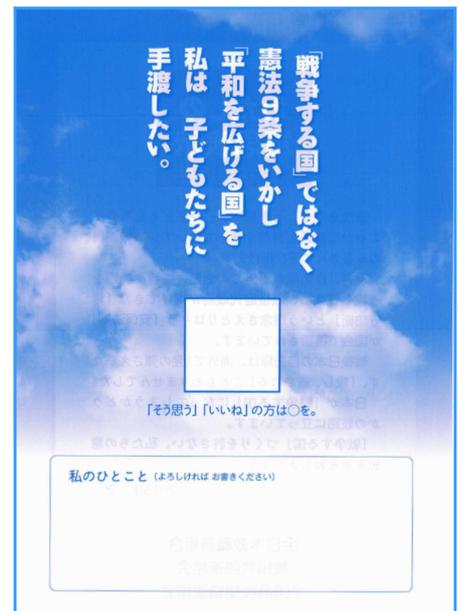
2015.7.7 No.6

全釧路教職員組合

## 「戦争する国づくり」を許さない！ 「全国教職員投票」を成功させよう！！

国会情勢は、憲法に反して他国の戦争に日本が加担することになるかどうかの瀬戸際に来ています。自民党の懇話会では「マスコミを懲らしめる」「沖縄の二つの新聞社は絶対つぶさないといけない」等の暴論も聞かれます。戦争法案に反対する圧倒的な世論に押されて、追い詰められた結果であるとも見ることもできるでしょう。

「戦争反対」の声をさらに大きく広げていくために、全教では「全国教職員投票」の取り組みを提起しました。意思表示カードに賛同の「○」をつけてもらう簡単な取り組みです。これを契機に職場の仲間と対話し、「戦争法案」成立を絶対に許さない世論と運動をより大きくしていきましょう。



### 「全国教職員投票」について

1. 目的
  - ・ 職場すべての教職員を対象とし、「戦争する国づくり」を許さない総対話運動の一環としてこの取り組みを位置づけ、「戦争法案」の今国会での成立を許さない世論と運動をつくる。
  - ・ 子どもと憲法を守る教職員の団結と共同を強め、組織拡大と強化につなげる。
2. 期間
  - 7月末までに行う。（期日を過ぎたものも受け付けます）
3. 内容
  - ・ 各職場ごとに「意思表示カード」に賛同の「○」をつけてもらい、専用袋への投票。
  - ・ カード下欄の「ひとこと欄」への記入は任意とする。
  - ・ 職場の実態に応じて、柔軟に、取り組み方を工夫する。
  - ・ 投票を通じて「戦争法案」「教育再生」等について対話し、組織拡大・強化につなげる努力をする。
  - ・ 集約後、全教は記者発表をする。さらに、国会・地方議員要請にも活用する。

# 被爆70年の節目の年に、今こそ！ 「原水禁大会代表派遣」を成功させよう

全国教職員投票の取り組みと合わせて、以前のお便りでもお知らせしたように、原水禁大会代表派遣のカンパ、署名の取り組みを進めます。

被爆から70年の節目の年に、「戦争できる国づくり」を許さない世論と運動をより大きくしていくためにも、長年平和運動の一翼を担ってきた原水禁大会への代表派遣の取り組みを、ぜひ成功させましょう！

7月半ばには衆議院で戦争法案が強行採決される可能性もあるとの新聞報道がある状況で、「教え子を再び戦場に送らない」のスローガンがこれほど切実に感じられたことはありません。忙しい日々が続く、その日の業務をこなすことに精一杯の先生も多いと思いますが、それでも、子どもたちの未来に責任を持つ私たちが、今できる取り組みを行っていくことの重要さをひしひしと感じます。戦後70年守り続けてきた平和を投げ捨て、「戦争する国」に向かうかどうかの歴史的岐路に立つ、まさに正念場です。

今の情勢について疑問や不安を感じている先生はたくさんいます。私たち組合員が、平和を求める声を広げるためにこの取り組みを呼びかけていくことは、そうした疑問や不安を持っている先生方に対して、組合の存在意義を伝えていくことにもなります。

原水禁大会(広島)には、厚岸支部の斎藤書記次長が参加します。大会の様子等については、終了後、報告してもらいます。

学期末の忙しい時期に、短い期間での取り組みとなりますが、下記の取り組みについて、組合員の総力で成功させましょう！



## 原水禁大会代表派遣に関わる取り組みについて

1. 目的
  - ・教職員投票とともに、「戦争する国づくり」を許さない総対話運動の一環としてこの取り組みを位置づけ、「戦争法案」の今国会での成立を許さない世論と運動をつくる。
  - ・子どもと憲法を守る教職員の団結と共同を強め、組織拡大と強化につなげる。
2. 期間 7月末までに行う。(期日を過ぎたものも受け付けます)
3. 内容
  - ①各職場ごとに、全教職員を対象に、代表派遣のための募金を募る。(職場の実態に応じて、柔軟に、取り組み方を工夫する。)
  - ②原水協「核兵器全面禁止のアピール」署名の取り組みも同時に行う。